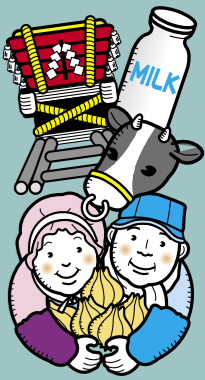


まちかどピックス

地域の催しや明るい話題などが
「な」になりました、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



変わらぬ想い、瓦に刻む



▲「瓦め愛」や「瓦め温もり」など絆を深める言葉が描かれていました

慶野松原の散策道「プロポーズ街道」に飾られているプロポーズ瓦のコンテストが、2月13日に行われました。このコンテストは平成9年から毎年行われており、今年で15回目。特産の瓦をPRす

プロポーズ瓦コンテスト審査会

のため淡路島観光協会が企画しました。夕日が美しいこの地を訪れたカップルや家族連れの記念として、人気を集めています。今回は昨年制作された44点の中から応募のあった21点が審査されました。審査は観光協会役員7人で、入賞した3点に賞品として、淡路島の特産物が贈られました。同協会の飛田俊紀副会長は「どの作品を見てもほほえましいものばかり。カップルで作るだけでなく南



▲愛の言葉や似顔絵などが刻まれた瓦を審査する同協会役員

あわじのファンになって、家族が増えた時などの節目にも来てほしい」と話しました。制作は、慶野松原荘フロントで受付しています。1枚2100円。

淡路人形座が42年ぶりの演目を復活公演



▲段の一場面。遠眼鏡で戦場を見守る深雪姫

淡路人形座が42年ぶりに復活させた「賤ヶ嶽七本槍 清光尼庵室の段」の公演が2月18日、三原公民館で行われました。淡路だけに伝わる独自の演目で昭和45年以前の公演です。当時の写真や音源、パンフレットなど、わずかな資料を手掛かりに復活させました。当日は、大阪市立大学の

賤ヶ嶽七本槍 清光尼庵室の段

久堀裕朗准教授による復活経緯や演目解説の後、約90分の公演が披露され観客を魅了しました。この夏には、淡路人形浄瑠璃の魅力をさらに発信していくため、福良港に新会館もオープンすることから、淡路人形座では「復活公演の成功は大きな励み。今後ますます演目の充実に取り組み、地元の方々にも楽しんでいただきたい」と話しています。

子どもたちが東日本へ義援金を送る

ボーイスカウト三原第4団とわんぱく塾が2月11日、東日本震災で被災した人を支援するため、社会福祉協議会へ義援金を寄託しました。同団体は昨年12月に、西淡まちづくり協議会とショッピングセンターシーパで淡路牛や淡路島たまねぎを使ったカレー100食を販売。売上金

ボーイスカウトとわんぱく塾

の一部3万1851円を寄託しました。同団体のメンバーで宮城県南三陸町を訪れたこともある久田直樹くん(松帆)は、「頑張っている人たちのために、何かしなければならぬと感じた。少しでも早く復興することに役立ってくれば」と話していました。



▲社会福祉協議会谷口会長に義援金を手渡すメンバー

いぶし瓦の銀さんと豆まき



▲いぶし瓦の銀さんと豆まきをする園児たち

市内の保育所(園)、幼稚園で2月1〜3日豆まきが行われ、商工会青年部がマスコットキャラクターとして製

商工会青年部

作したいぶし瓦の銀さんが参加しました。同会青年部が節分を機に、いぶし瓦の銀さんと触れ合ってもらおうと企画しました。3日には北阿万保育所で、青年部による紙芝居「いい銀さんとわるい銀さん」が披露されました。その後、銀さんが黒いマントをつけて登場。園児たちは威勢よく「鬼は外」とかけ声をあげ、銀さんに豆を投げました。



▲園児たちは銀さんの面に思い思いの色を塗り、紙で豆を作りました

子どもたちは「銀さんが来るのを楽しみにしていた。家に帰っても豆まきをした」と笑顔で話していました。同会青年部の浜口健一さん(松帆)は「イベントを通して銀さんに慣れ親しんでもらえたらうれしい」と話していました。

家族で楽しく、心躍る体験を

市内各地で、1月14〜29日までの土曜日と日曜日に「南あわじ市のおいしい体験」が行われました。市内のみならず市外、島外からも参加者が集まりました。

参加者たちはまず、うずの丘においてブルーベリージャムを作りしました。丘の上のみどり園で収穫されたブルーベリーを使ったジャムは大変好評でした。

その後、淡路島牧場に移動し乳搾り体験を行いました。牛に初めて触れる参加者も多



▲牛の乳しぼりを行う参加者

南あわじ市のおいしい体験



▲灰汁を取りながらブルーベリーを煮詰めています

く、恐る恐ると、しかし楽しく、そうに乳搾りをしていました。最後にイングリッシュの丘でパン作りを行いました。参加者たちは色々な形のパンを作り、それにブルーベリージャムを塗って食べました。原田裕美さん(淡路市)は「子どもと一緒に様々な体験ができて楽しかった」と話しました。



▲参加者たちは思い思いのパンを作りました

おめでとう

兵庫県表彰

こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している個人・団体に贈られました。

◆自治賞

池田千代子さん(湊)

◆こころのとり賞

市川 弘子さん(神代)
井上 敏子さん(阿万)
入口 清弘さん(市)
榎本小代子さん(市)

銭尾 京子さん(広田)

仁里 久男さん(志知)

船本恵美子さん(志知)

◆くすのき賞

庄田グループ(俊文)

◆みどりの賞

家田 廣さん(広田)
石田 孝雄さん(潮美台)
濟藤 静子さん(津井)
原口 洋さん(北阿万)
宮地 弘さん(八木)

兵庫県スポーツ優秀選手賞

山口さん、村上さん、和島さんの3人は、兵庫県スポーツ優秀選手賞を受賞しました。

兵庫県体育協会表彰

不動さんは平成13年から体育協会会長に就任し、合併後も同協会会長として貢献されています。

◆体育功労賞

不動 修さん(松帆)

ひょうご子育て応援賞知事表彰

絵本の読み聞かせや一時預かりなど多様な子育て支援活動を展開したことが称えられ受賞しました。ピッピー(子育てファミリーサポートくらぶ)

都道府県対抗女子駅伝に出場しました

高田さんは1月15日、京都で行われた都道府県対抗女子駅伝に出場しました。高田 未生菜さん(三原中)



▲兵庫県代表として出場。4位でゴールすることに貢献しました